

370人が現場目線で考える

維持管理技術フォーラム開催

日本コンクリート工学会

日本コンクリート工学会
中部支部の主催、石川、

福井、富山の北陸3県コ
ンクリート診断士会、北

陸SIP、イン
フラメンテナン
ス国民会議の共

催による「これ
からの維持管理
の技術を考える
フォーラム」が
このほど、福井
市手寄のアオツ
サで開催され
た。

コンクリート

民の技術者、研究者たち
約370人が参加。冒頭、
中部支部調査研究事業委
員会の石川裕夏委員長が

「現場目線で意見交換を
行い、実際に求められる
技術の本質を見出してほ
しい」と挨拶の言葉を述
べた。

診断士や産官学

続いて、岐阜大学の六
郷恵哲名誉教授が「ロボ
ット技術による橋梁定期
点検の効率化・高度化と
交通規制の大幅短縮」を
演題に基調講演し、新技

術実装への取組みを紹介
した。
また、最新技術として
橋梁点検支援ロボットや
ドローンの活用、フライ
アッシュを用いたコンク
リート床版更新工事、流
電陽極による腐食緩和法
が発表。ほかにも北陸3
県の維持管理の現状と、
今後の技術的課題や産学
官の連携についても説明
された。

この後、「現場が求め
る維持管理の技術とは」
をテーマにパネルディス
カッションも実施。富山
県立大学工学部の伊藤始
教授がコーディネーター
を務め、パネラーたちは
活発に議論を交わした。

この後、「現場が求め
る維持管理の技術とは」
をテーマにパネルディス
カッションも実施。富山
県立大学工学部の伊藤始
教授がコーディネーター
を務め、パネラーたちは
活発に議論を交わした。

この後、「現場が求め
る維持管理の技術とは」
をテーマにパネルディス
カッションも実施。富山
県立大学工学部の伊藤始
教授がコーディネーター
を務め、パネラーたちは
活発に議論を交わした。



新技術実装の有用性を説く
六郷教授=21日、アオツサで

このほど、福井
市手寄のアオツ
サで開催され
た。

コンクリート
診断士や産官学

続いて、岐阜大学の六
郷恵哲名誉教授が「ロボ
ット技術による橋梁定期
点検の効率化・高度化と
交通規制の大幅短縮」を
演題に基調講演し、新技

この後、「現場が求め
る維持管理の技術とは」
をテーマにパネルディス
カッションも実施。富山
県立大学工学部の伊藤始
教授がコーディネーター
を務め、パネラーたちは
活発に議論を交わした。